

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国際線の対応について(Rev.33)

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う環境変化への対応として、2022 年 1 月 17 日～2 月 28 日の東アジア方面(*1)および 2 月 1 日～28 日の北米・欧州・東南アジア・オセアニア・ハワイ・グアム方面の路線便数計画を決定しました。

JAL では、12 月 1 日より花王株式会社と連携し、機内の化粧室などの衛生状態を数値化しより効果的に清掃を行うなど、更なる安全・安心な海外渡航に向けて衛生品質を維持・向上するための取り組みを開始しました(*2)。今後も使用可能路線の拡大に努め、より多くのお客さまに安全・安心でスムーズな空の旅を提供してまいります。

(*1)東アジア方面については一部路線において対象期間が異なります。

(*2)2021 年 12 月 1 日付プレスリリース第 21083 号『「キレイのチカラを、翼にのせて。」をスローガンに花王と連携し、最高水準の安全・安心な空の旅を実現します』URL:<https://press.jal.co.jp/ja/release/202112/006390.html>

【主なトピックス】 ※=は往復、-は片道を表します。

- ✓ 各国の規制・感染状況や需要動向を注視し、2 月もアジア=北米間などの乗継需要に対応したネットワークを継続します。

<路線便数計画について>

■ 2021 年 1 月の路線便数計画(本日未発表の 1 月 29 日～31 日分のソウル線を除く)

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
60	60	4,820	3,450	72%

■ 2022 年 2 月の路線便数計画(本日未発表のソウル線を除く)

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
59	59	4,256	2,983	70%

■ 2022 年 3 月 1 日～26 日の路線便数計画(本日発表の北京線のみ)

計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)
2	2	156	156	100%

※上記減便率は 2020 年度事業計画比です。なお、上記のスケジュールは関係当局への申請と認可を前提としています。

<方面、都市について>

北米	シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
欧州	ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
東南アジア	シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
オセアニア	シドニー、メルボルン
東アジア	北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、台北(桃園・松山)
ハワイ・グアム	ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※路線便数詳細は別添資料をご参照ください。今後の最新情報については JAL Web サイト

(<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/200511/index.html#inter>)をご参照ください。